

岩手県感染症週報

令和2年第28週 (7月6日～7月12日)

岩手県感染症情報センター

第28週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核の報告が1例ありました。
- 3 類感染症 ・腸管出血性大腸菌感染症は、県央地区から2例、奥州地区から3例、中部地区から1例の計6例の報告がありました。
本疾患は、例年、夏に報告が増えます。主な症状は、腹痛、下痢、血便ですが、重症化し、死亡する場合があります。少ない菌数でも感染するため、食品からだけでなく、ヒトからヒトへ、特に家族内や保育所等で感染が広がりやすいことが特徴です。食中毒予防の三原則の徹底、石けんと流水による手洗いが重要です。
- 4 類感染症 ・E型肝炎の報告が大船渡地区から1例ありました。患者は30歳代の男性です。
・レジオネラ症の報告が宮古地区から1例ありました。患者は70歳代の男性です。
- 5 類感染症 (全数把握対象疾患)
・梅毒の報告が一関地区から1例ありました。患者は60歳代の女性です。
- 5 類感染症 (定点把握対象疾患)
・水痘は久慈地区で警報値 (定点あたり患者数2人) を超えました。水痘患者のほか、带状疱疹患者も感染源となり、罹患歴がなくワクチン未接種の場合、重症化や合併症により入院が必要となることもあります。ワクチン接種は2回行うことで効果が高まり、罹患または重症化を予防することができます。

「岩手県-新型コロナ対策
パーソナルサポート」
(@iwatevscovid19)
ID検索またはQRコードから
友達追加

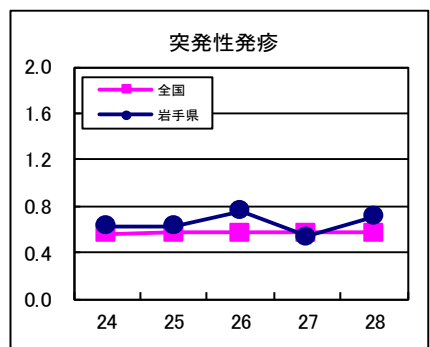
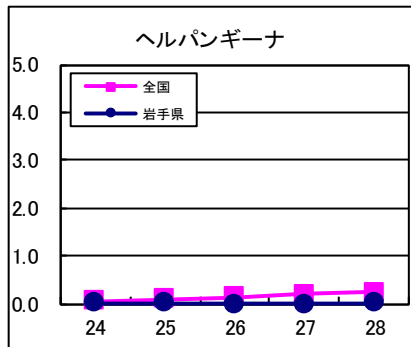
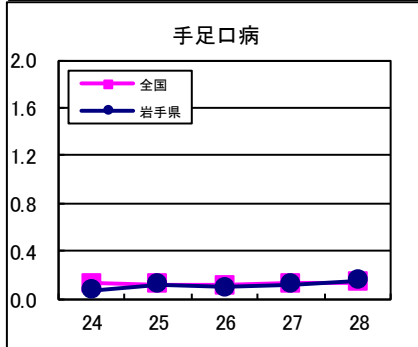
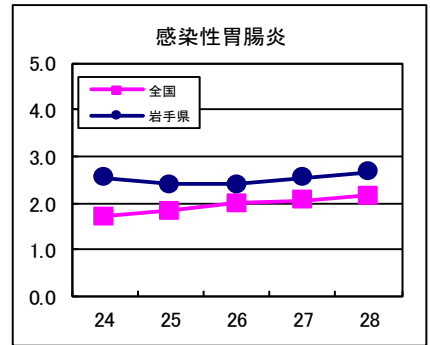
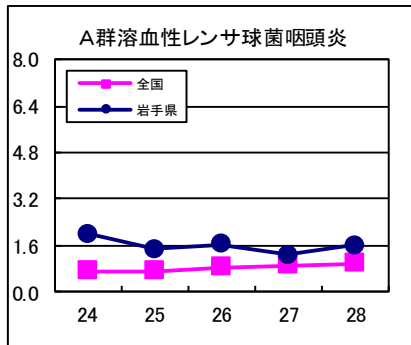
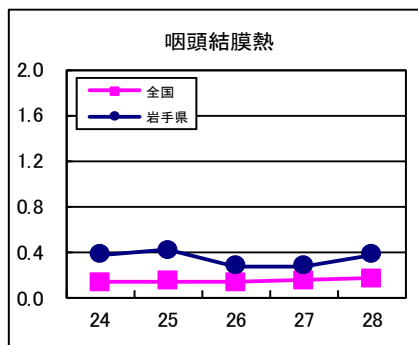


指定感染症

- ・新型コロナウイルス感染症は、県内ではこれまで患者の届出はありません。本疾患の感染経路は飛沫感染・接触感染で、肺炎等の重症例も一部見られ、死亡も報告されています。咳エチケットと手洗い、3密を避けることが最も重要です。疑われる症状が出た場合には「帰国者・接触者相談センター」に御相談ください。
新型コロナウイルス感染症に関する情報<岩手県>
<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/kenkou/jouhou/1026260.html>

最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

報告週対応表 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

※2018年1月1日より百日咳が5類感染症 (定点把握疾患) から5類感染症 (全数把握疾患) へ変更されました。
 ※2013年第42週より感染性胃腸炎 (ロタウイルス) が定点把握対象疾患となりました。

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向
		24	25	26	27	28	
インフルエンザ	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→
	全国	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
RSウイルス感染症	岩手県	0.00	0.00	0.02	0.00	0.02	→
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
咽頭結膜熱	岩手県	0.37	0.41	0.27	0.27	0.37	→ ☆
	全国	0.13	0.14	0.13	0.15	0.16	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	2.00	1.46	1.63	1.27	1.59	→ ☆
	全国	0.73	0.72	0.85	0.92	0.99	
感染性胃腸炎	岩手県	2.56	2.41	2.41	2.56	2.68	→ ☆
	全国	1.71	1.84	2.00	2.06	2.17	
水痘	岩手県	0.29	0.15	0.22	0.32	0.27	→ ☆
	全国	0.11	0.09	0.08	0.10	0.12	
手足口病	岩手県	0.07	0.12	0.10	0.12	0.15	→ ☆
	全国	0.13	0.12	0.11	0.13	0.14	
伝染性紅斑	岩手県	0.02	0.02	0.00	0.05	0.00	→
	全国	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	
突発性発疹	岩手県	0.63	0.63	0.76	0.54	0.71	→ ☆
	全国	0.56	0.57	0.57	0.57	0.57	
ヘルパンギーナ	岩手県	0.02	0.02	0.00	0.00	0.02	→
	全国	0.05	0.09	0.14	0.20	0.23	
流行性耳下腺炎	岩手県	0.05	0.05	0.07	0.05	0.10	→ ☆
	全国	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	
急性出血性結膜炎	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→
	全国	0.00	0.01	0.01	0.00	0.01	
流行性角結膜炎	岩手県	0.07	0.14	0.57	0.14	0.21	→ ☆
	全国	0.16	0.16	0.19	0.20	0.19	
細菌性髄膜炎	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→
	全国	0.02	0.02	0.03	0.02	0.02	
無菌性髄膜炎	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→
	全国	0.03	0.02	0.02	0.03	0.02	
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.00	0.05	0.16	0.00	0.00	→
	全国	0.09	0.05	0.05	0.05	0.05	
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→
	全国	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→
	全国	-	0.00	0.01	0.00	0.00	
インフルエンザ (入院患者) ※報告数であることに注意	岩手県	0	0	0	0	0	
	全国	1	0	1	3	2	

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

※ジカウイルス感染症が2016年2月15日から四類感染症に追加されました。

(患者発生数)

分類	疾病名	(週)					累計	全国	
		24	25	26	27	28		28	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 () 内は潜在性結核感染症患者再掲	6 (3)	1 (0)	2 (0)	6 (1)	1 (0)	59 (22)	273	9122
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	中東呼吸器症候群 (MERS)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H7N9)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	1	54
	腸管出血性大腸菌感染症	2	0	1	3	6	17	66	906
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	17
	バラチフス	0	0	0	0	0	0	0	7
	E型肝炎	0	0	0	0	1	2	4	260
四類 感染症	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	2	4	81
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	8
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	4
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	3
	キャサナル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	1
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	3
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジカウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	1
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0	0	0	37
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	3
	つつが虫病	0	0	0	0	0	1	2	104
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	41
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	11	116
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	1
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	1
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	1
マラリア	0	0	0	0	0	0	0	12	
野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0	
ライム病	0	0	0	0	0	0	1	10	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	0	1	0	1	7	38	803	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	1	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 24	25	26	27	28	累計	28	累計
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	3	10	324
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	1	3	135
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	0	0	0	0	6	18	850
	急性弛緩性麻痺	0	0	0	0	0	0	1	17
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	0	0	0	4	325
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	1	3
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	0	0	0	2	0	74
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	0	0	0	5	8	431
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	2	9	527
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	14
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	2	1	175
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	11
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	0	1	0	0	9	9	1027
	水痘 (入院例)	0	0	0	0	0	1	5	199
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	1
	梅毒	1	0	0	0	1	5	64	3027
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	0	0	0	4	72
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	52
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	72
百日咳	1	1	0	1	0	23	5	2572	
風しん	0	0	0	0	0	0	1	84	
麻しん	0	0	0	0	0	0	0	12	
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	4	
※ 新型コロナウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	1560	21499	

※指定感染症として新型コロナウイルス感染症 (令和2年2月1日～)

今注目の感染症

感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は細菌やウイルス、寄生虫など多種多様な原因によっておこる胃腸炎の総称です。毎年秋から冬にかけて流行し、その原因はノロウイルスやロタウイルス等のウイルスが大部分を占めています。近年では、流行の前半ではノロウイルスが、後半ではロタウイルスが患者から多く検出されています。

例年、感染性胃腸炎の報告数は、12月～2月頃が一番多いですが、6月頃まで報告が多い状態が続くこともあります。今年も、例年よりも報告が少ない状態が続いています。

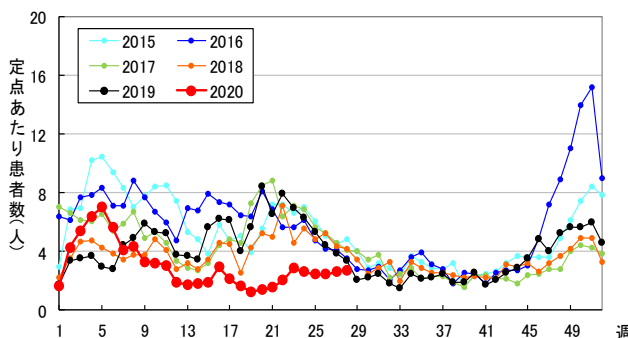
【参考】・ノロウイルスに関するQ&A (厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

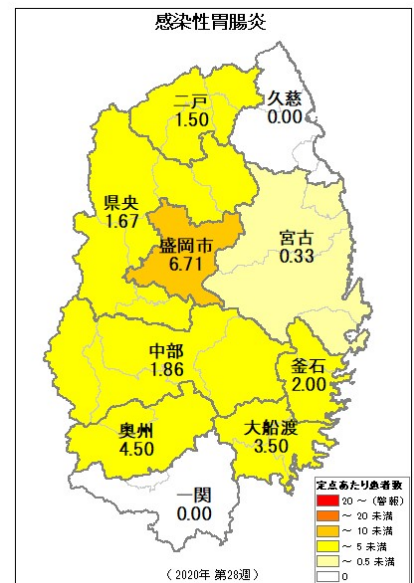
・感染性胃腸炎とは (国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/383-intestinal-intro.html>

感染性胃腸炎、岩手県 (2015-2020)



岩手県における感染性胃腸炎週別患者報告数 (2015年～2020年第28週)



第28週の保健所管内別の状況

※国土交通省国土政策局「H29年1月1日時点国土数値情報 (行政区域データ)」をもとに岩手県が編集・加工した。
※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)を使用した。(承認番号 平29情使、第675号)

今注目の感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症は、コロナウイルス科ベータコロナウイルス属の新型コロナウイルスによる急性呼吸器症候群です。2020年2月1日に指定感染症となりました。

「中華人民共和国（以下、中国）湖北省武漢市保健衛生委員会によると、2019年12月以降、同市で原因不明の肺炎患者が発生しており、2020年1月7日には中国当局が新種のコロナウイルスを検出した。」と世界保健機構（WHO）が発表し、以降、世界各地で広まっています。

国内では、同4月7日に7都府県を、16日には全道府県を対象に緊急事態宣言が発出されましたが同5月25日に解除されました。全国の発生状況は図1（国立感染症研究所HPより）のとおりです。

岩手県では、7月16日現在、患者の届出はありません。引き続き、咳エチケットや手洗いなど普段からの感染症予防対策に努めていただくとともに、「3つの密」（換気の悪い密閉空間、人が密集している、近距離での会話や発声が行われる）を避けるようにしましょう。

また、環境保健研究センターで行っている、新型コロナウイルスのPCR検査件数の推移は図2のとおりです。

図1. 報告日別新型コロナウイルス感染症届出数 (2020年1月14日～6月22日)

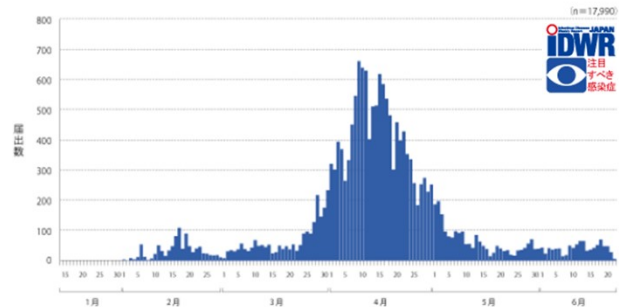
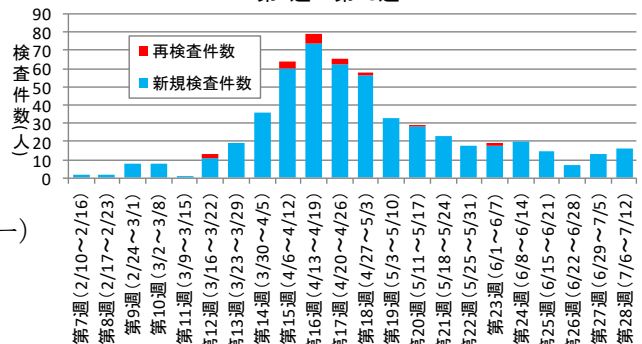


図2 週別新型コロナウイルス検査件数(人) 第7週～第28週



<<<岩手県の電話相談窓口>>>

○帰国者・接触者相談センター（コールセンター）

受付時間 24時間 全日（土日・祝日含む）

TEL:019-651-3175 FAX: 019-626-0837

次の症状がある方は、ご相談ください。

- ・息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- ・重症化しやすい方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
（重症化しやすい方：高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患等の基礎疾患がある、透析を受けている、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方）
- ・上記以外の方で発熱や咳など、比較的軽い風邪の症状が続く場合

詳しくは、岩手県の新型コロナウイルス感染症のホームページを御覧ください。

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyau/iryuu/kenkou/jouhou/1026260.html>

また、新型コロナウイルス感染症の最新情報については、厚生労働省及び国立感染症研究所のホームページで随時更新されています。ご確認をお願いいたします。

◆参考 新型コロナウイルス感染症について－厚生労働省－

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

新型コロナウイルス（2019-nCoV）関連情報について－国立感染症研究所－

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/9324-2019-ncov.html>



今注目の感染症（つづき）

つづが虫病

つづが虫病は、つづが虫病リケッチアを保有するツツガムシの幼虫に咬まれることで感染します。潜伏期間は5～15日間で、主な症状は、高熱（38～40℃）、発疹、頭痛で、ツツガムシによる刺咬部に1cmほどの大きなカサブタがあることが特徴です。つづが虫病は、治療が遅れることで重症化・死亡することもあるため、疑わしい症状が出た際は早期に受診し、野外活動（農作業や山菜取り、山や河川でのレジャー）について医師に伝えることが重要です。

全国的には5～6月と11～12月に患者が増加しますが、東北では雪解け後の5～6月に患者が多くなります。2019年は、岩手県では報告がありませんでしたが、東北6県では41例の報告があり、秋田県では死者も出ました。2020年は、岩手県は第21週に1例目が、また、第27週までに東北では29例が報告されており、野外活動の際には特に注意が必要な感染症です。

ツツガムシは、ダニの一種で、野山、田畑および河川敷に生息しています。病原体を持ったツツガムシの幼虫が衣服の隙間等から体表面の柔らかい部位（わきの下、内股、陰部、下腹部など）にたどり着き、体液を吸うことで感染します。ツツガムシの幼虫は0.2mm程度と小さく、存在に気づくことは困難であること、ツツガムシの幼虫が取り付いてから刺咬するまでに6時間以上かかることから、吸着を防ぐことが最も重要です。

具体的には、野外活動の際に

- ・長袖、長ズボンに足首までを覆う靴を履き、素肌をさらさないこと
- ・帰宅後はすぐに入浴・洗濯をすること
- ・ディートまたはイカリジンを含有した虫よけ剤を使うこと
などです。

【参考】

- ・ツツガムシ病とは（国立感染症研究所）
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/436-tsutsugamushi.html>
- ・つづが虫病に注意しましょう（秋田県）
<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/977>
- ・つづが虫病のしおり（秋田県医師会）
http://www.akita.med.or.jp/_app/webroot/js/kcfinder/upload/files/shiori27.pdf

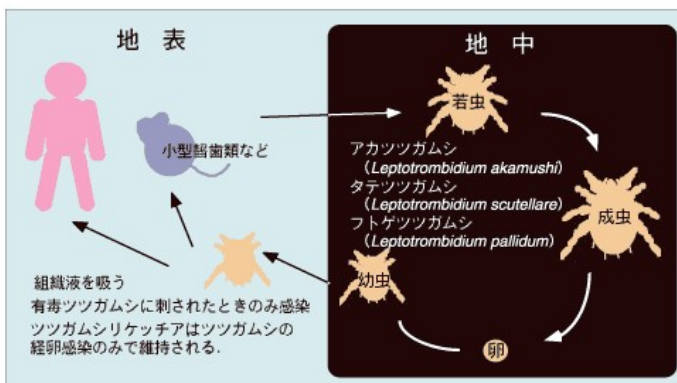


図1. ツツガムシの生活環
（国立感染症研究所HPより）

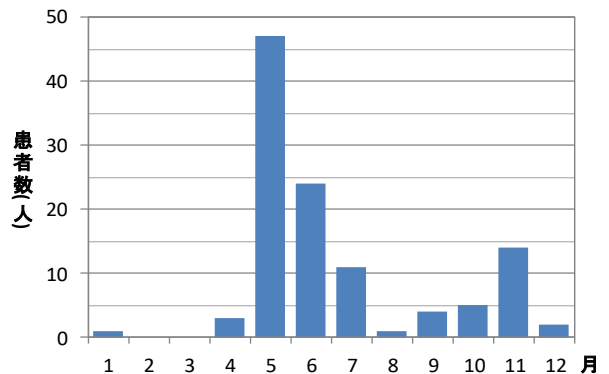


図2. 岩手県における月別つづが虫病届出数
（1999-2020年）

今注目の感染症 (つづき)

風しん

風しんは、風しんウイルスによって引き起こされる、発熱、発疹、リンパ節の腫脹を特徴とする急性の発疹性感染症です。風しんウイルスは、患者の飛沫(唾液のしぶき)などによりヒトからヒトへ感染します。潜伏期間は2週間程度で、発疹が出る前後1週間位がヒトへの感染力があるとされています。風しんに免疫を持たない妊婦の方が妊娠第20週頃までに感染すると、「先天性風しん症候群」という目や心臓、耳などに障害を持つ子供が生まれる可能性があり、妊婦への感染を防止することが重要です。

全国では、2018年第30週以降、関東地方で報告数が大幅に増加し、2018年の累積報告数は2,946人、2019年の累積報告数は2,306人と全国流行があった2013年(14,348人)に次いで2番目と3番目に多い報告数となりました。2020年は、第27週までに83人が報告されています。男性の報告数(63人)が女性の報告数(20人)の約3.2倍となっており、第5期定期接種対象の41～58歳男性が男性患者の52%を占めています。今回の流行は、風しんの抗体を保有していない30～50代の男性で感染が拡大しているとみられます。

岩手県では、全数把握疾患となった2008年以降、2020年第28週までに23人が報告されています。全国流行があった2013年には9人の報告がありました。

予防にはワクチン接種が最も効果的です。2回の定期予防接種(1歳児と小学校入学前1年間)を徹底しましょう。また、2021年度末までの期間に限り、これまで風しんの定期接種を受ける機会のなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性(現在41～58歳)が定期予防接種の対象者として追加されました(図3)。また、妊婦への感染を防止するため、予防接種歴や抗体陽性が確認できない「妊婦の夫、子どもや同居家族」、「妊娠希望者や妊娠の可能性が高い女性」の方は、任意で予防接種を受けることが推奨されます。

【参考】・風疹とは(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/430-rubella-intro.html>

・風疹急増に関する疫学情報: 2020年7月8日現在(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/rubella/2020/rubella200708.pdf>

・先天性風しん症候群(CRS)の報告: 2020年1月22日現在(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubella-m-111/700-idsc/8588-rubella-crs.html>

・風しんの追加的対策について(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/index_00001.html

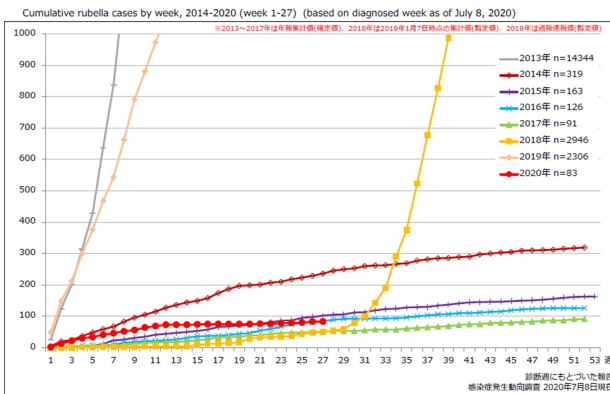


図1 全国における風しん累積報告数の推移 (2013～2020年第27週) (国立感染症研究所HPより)

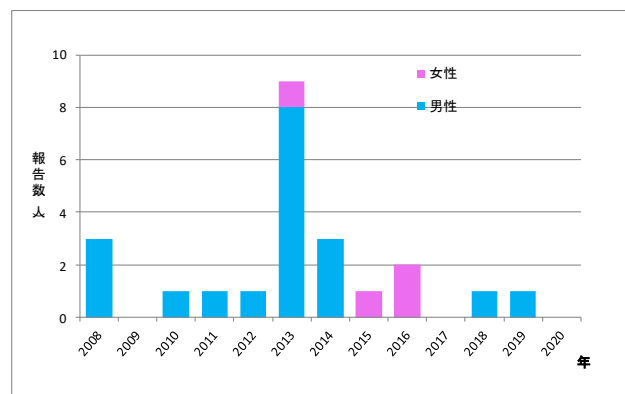


図2 岩手県における年別・性別風しん報告数 (2008～2020年第28週)



図3 風しん含有ワクチンの定期予防接種制度と年齢の関係 (令和2(2020)年4月1日時点) (国立感染症研究所HPより)

集団感染情報

- ・この週には集団感染情報はありませぬ。



病原体検出情報

- ・この週には病原体検出情報はありませぬ。

医療機関からの情報

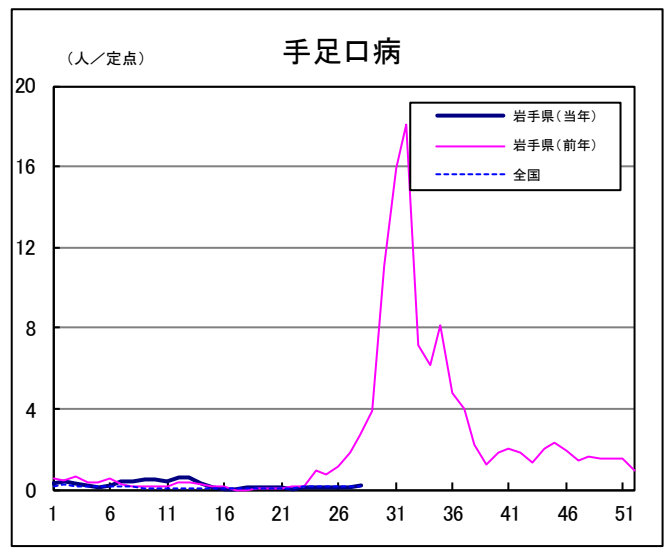
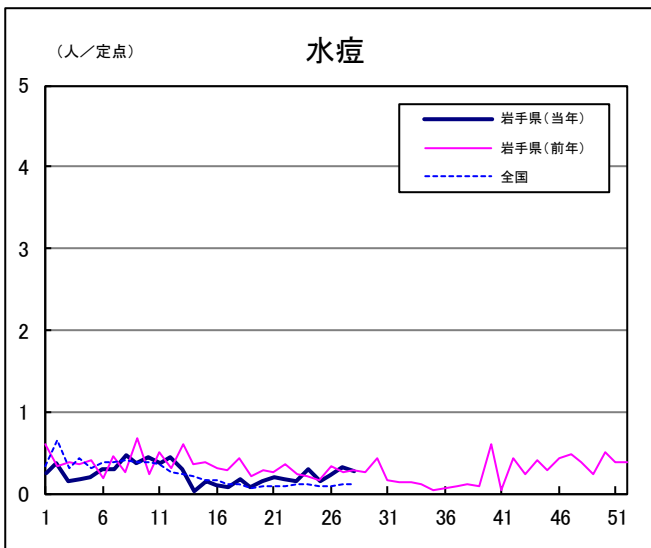
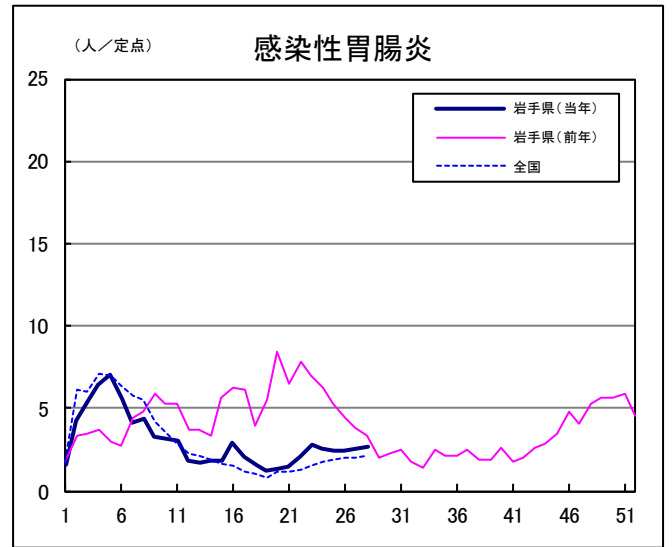
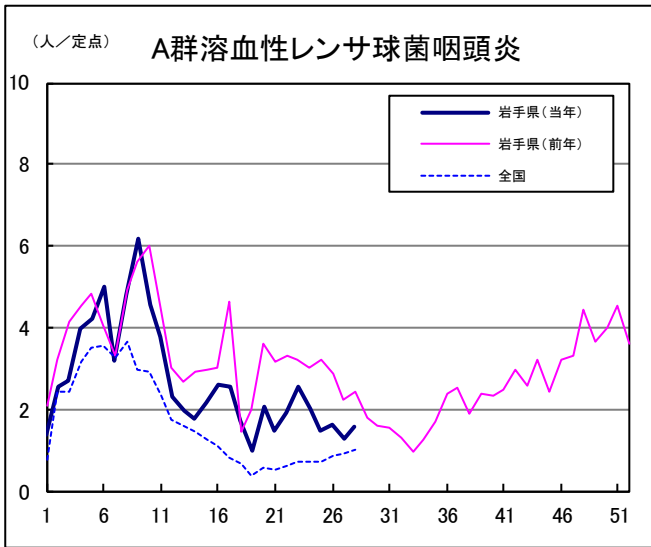
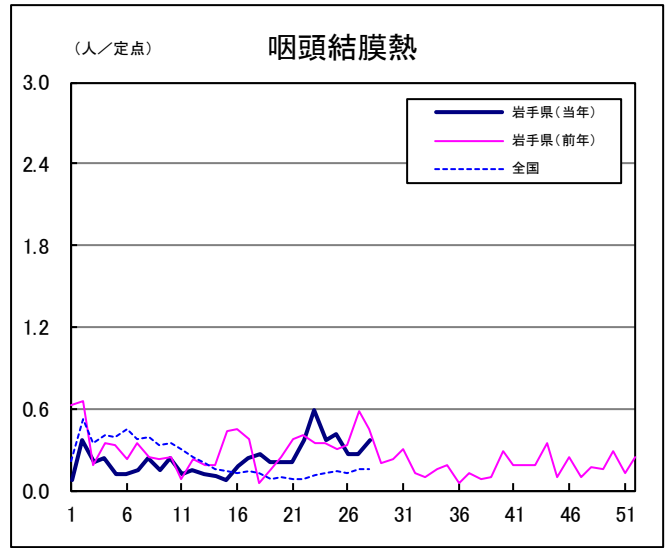
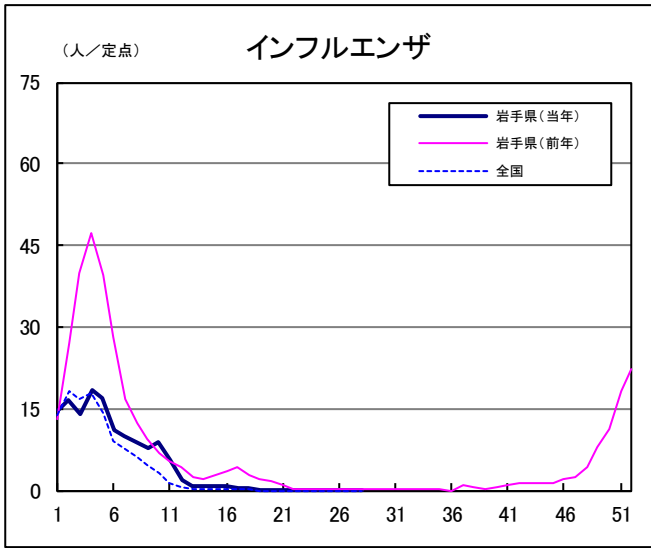
- ・この週には医療機関からの情報はありませぬ。

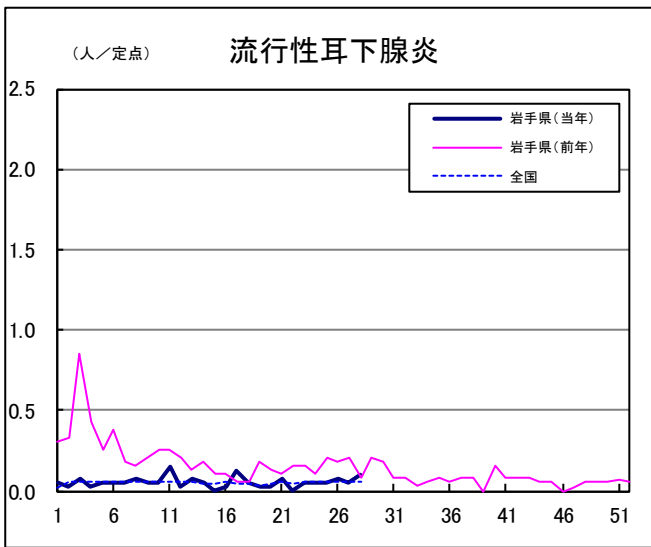
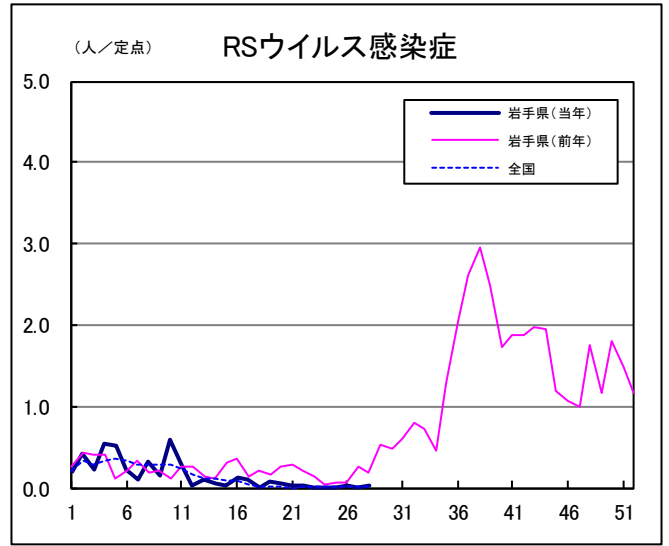
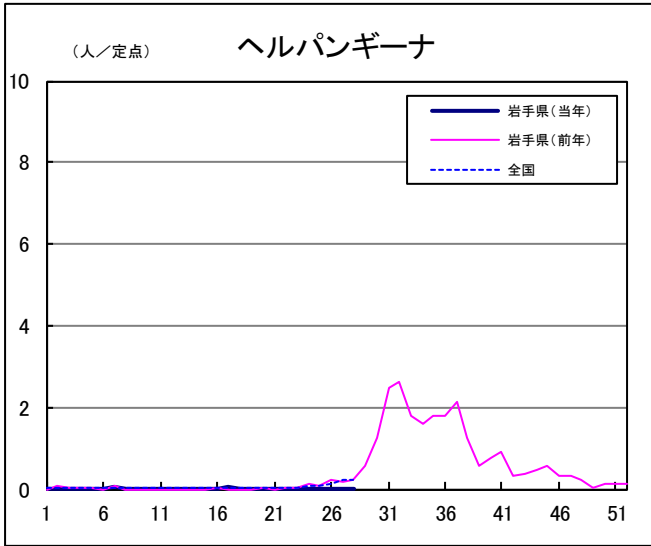
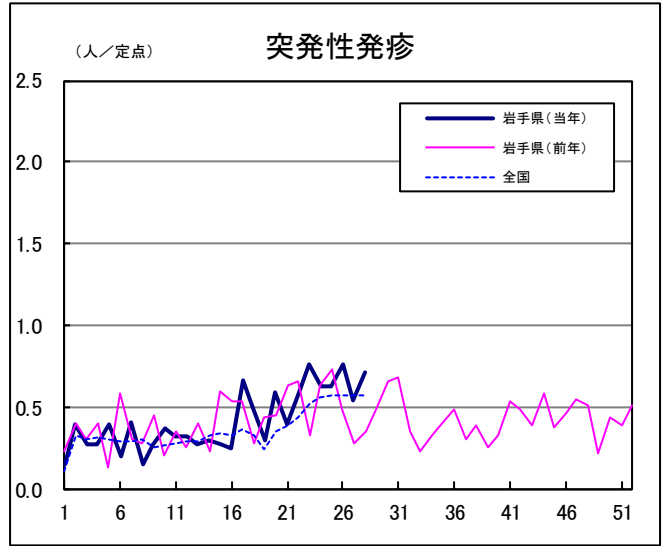
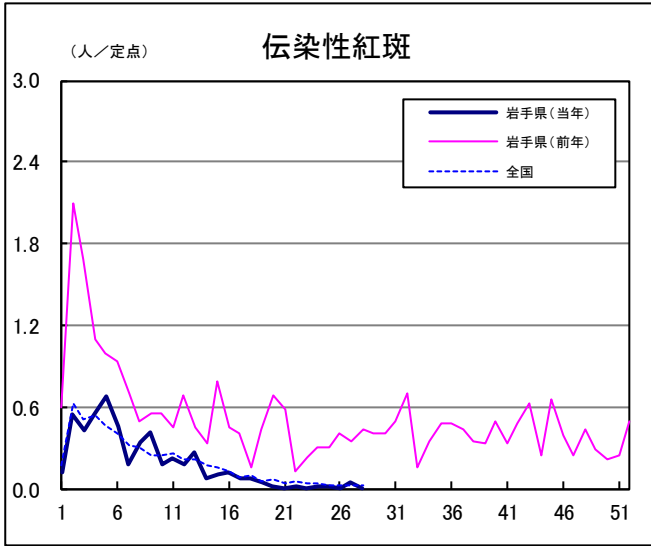
Q & A

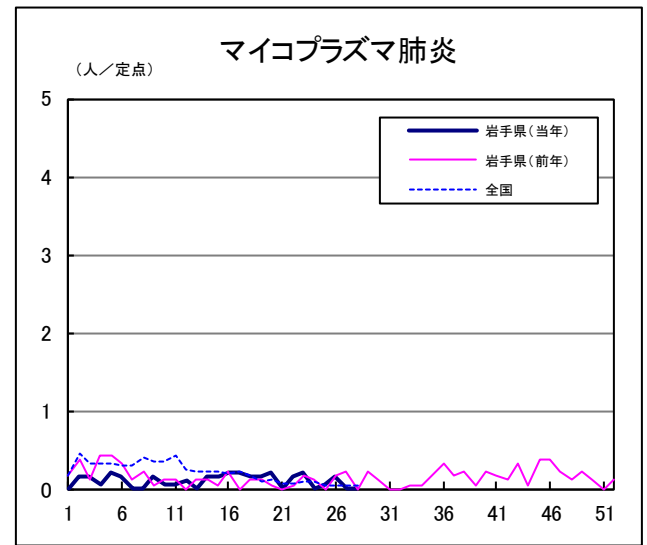
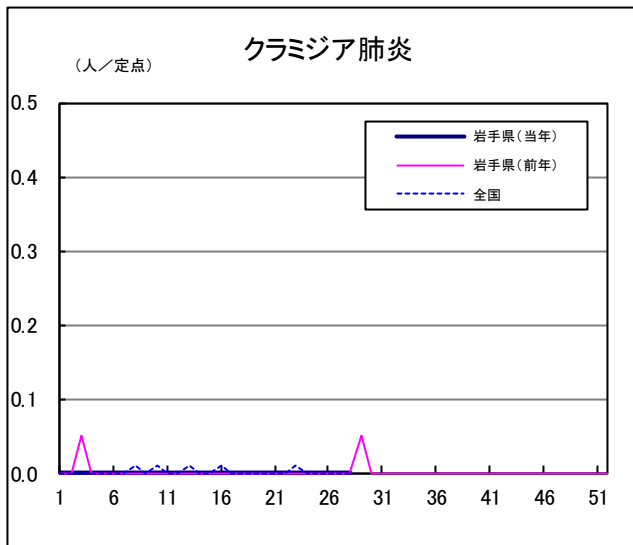
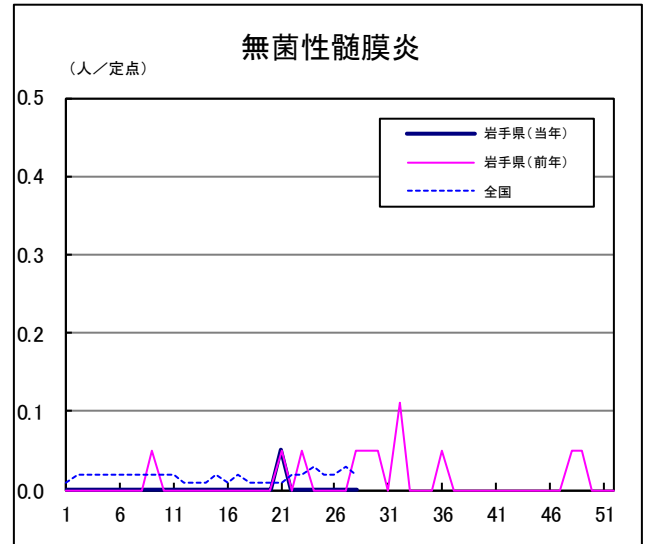
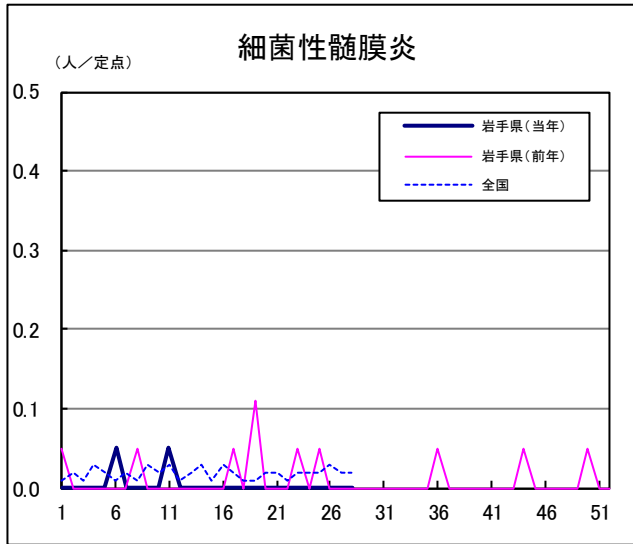
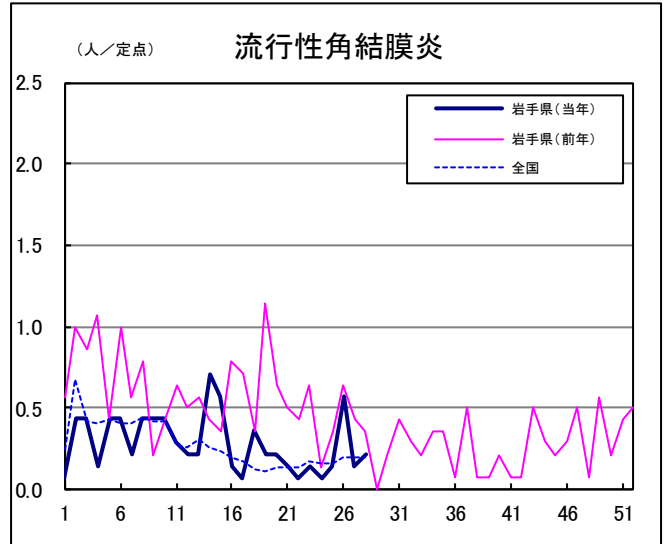
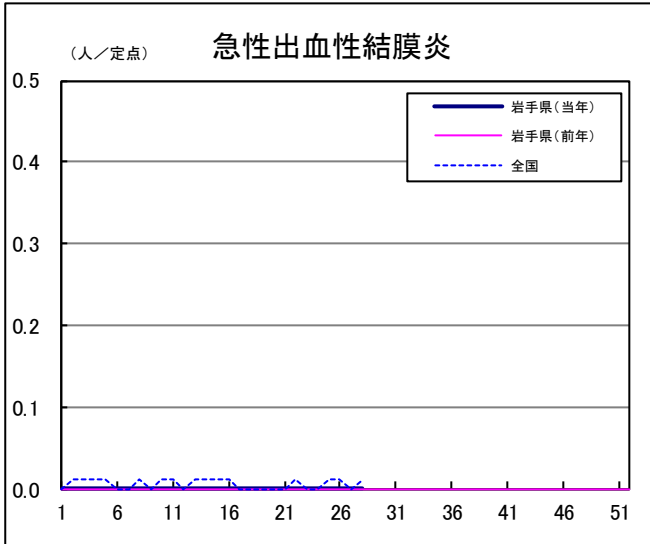
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)







定点医療機関の数

地区	定点種別	インフル エンザ	小児科 定点	眼科定点	基幹定点
岩手県		65	41	14	19
盛岡市		11	7	3	4
県央		9	6	2	1
中部		12	7	2	4
奥州		7	4	1	2
一関		7	4	1	2
大船渡		5	4	1	1
釜石		3	2	1	1
宮古		5	3	1	1
久慈		3	2	1	1
二戸		3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 令和2年第28週 令和2年7月17日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<https://www.pref.iwate.jp/soshiki/hofuku/1016013.html>

<岩手県保健福祉部医療政策室>